

令和2年6月24日

全校朝会講話 「あいさつ」

全校のみなさん、おはようございます。

今日は、今年度初めての全校朝会です。全員で集まれないこと、みんなの顔を見られないことは本当に残念ですが、しばらくの間は我慢します。

第一回目の全校朝会、今日は、「あいさつ」の話をします。

私は、分散登校の時も、今も、毎日正門のところに立っています。もう少ししたら、南門に立つ日も作りたいと思っています。

さて、私が毎日、門のところに立つのはなぜでしょうか？

それは、みなさんと「あいさつ」をするためです。

「あいさつ」は、人と人とをつなぐ、とても便利で、簡単で、それでいてすごく強い力をもつ方法です。だから、毎朝「おはようございます。」と声をかけています。

みなさんとあいさつを交わしていて、「これはうれしいなあ。」「素晴らしいなあ。」と感じるあいさつが3つあります。

1つ目は、相手の目を見ている「あいさつ」です。「おはようございます。」という言葉だけでなく、「今日も元気です。」とか「一日がんばります。」といった気持ちまで届けてもらっているような気になります。

2つ目は、しっかりと声を出している「あいさつ」です。相手に届くちょうどよい声の大きさであいさつをすることは、とても大切なことです。マスクをしているので少し難しいのですが、できている人がたくさんいます。

最後の3つ目は、自分からすすんとする「あいさつ」です。友達とのおしゃべりが楽しいときなど、ついついあいさつを忘れがちですが、先生や友達を見付けると、すぐにあいさつができる人がいます。周りをよく見て、きちんと気持ちを切り替えられるのですね。

今、お話しした3つのことは、あいさつのコツかもしれません。この3つがすべてできている人が1年生にもいますよ。とても立派なことですね。

どんなあいさつをすると、相手も自分も気持ちよくなれるのか、クラスでも話し合ってみてください。

特に、高学年のみなさん、ぜひ全校のお手本になってくださいね。期待しています。これで、お話を終わります。